

## II. 平成19年度砂防学会研究発表会要領

### 1. 発表者の資格

砂防学会員に限ります(ただし、グループでの発表の場合は、代表者が会員であること)。

### 2. 発表内容

土石流、山崩れ、表面侵食、地すべり等の土砂災害・火山災害およびそれらの防止工事、斜面緑化、森林水文、森林の影響、砂防と環境、砂防の社会的評価に関するもので、原則として学会等に未発表のものに限ります。

### 3. 発表方法

テーマ別及び一般口頭発表は、パソコン接続のプロジェクトのみで行います。発表者は、USBメモリーかCDにファイルを格納して持参してください。パソコンを持ち込まれても構いません。OHPおよびスライドは使用できません。パソコンのOSはwindows XPです。発表前に会場のパソコン等で動作確認をしておいて下さい。

### 4. テーマ別セッション

平成19年度研究発表会においても、一般口頭発表並びにポスターセッションの他に、以下の4課題のテーマ別セッションを設定致します。

#### 企画テーマ：警戒・避難の現状と問題点

コーディネータ：井良沢道也(岩手大学)

セッションの趣旨：

近年の土砂災害の発生による死者・行方不明者数は減少する傾向になく、平成18年においても、7月19日に発生した長野県岡谷市・辰野町の土砂災害をはじめ、6月22日から8月4日の豪雨により21名もの尊い人命が失われています。こうした近年の一連の深刻な土砂災害から、警戒・避難の現状と問題点が明らかになってきています。例えば、高齢者など災害時に援護の必要とする者の被災が目立っており、少子高齢化の進展を踏まえた警戒・避難体制の

確立が必要です。災害時に避難勧告の発令等の遅れがあったほか、発令されても避難しない住民が多数に上っています。過疎化の進行や都市部での新規世帯の流入など「地域コミュニティ」の弱体化により災害時において円滑な警戒・避難を行うことができない。住民自ら「地域防災マップ」を作成するなど土砂災害防止に関する知識の普及や啓発活動を図り、地域住民が自主的に地域防災に取り組む体制づくりが痛感されたなどです。このように警戒・避難体制において明らかになった新たな課題に応えることが求められています。本セッションでは、近年の土砂災害の警戒・避難の事例を分析し、課題・問題点を浮き彫りにするとともに、こうした課題・問題点への解決策について検討したいと思います。

#### 一般テーマ1：最近の異常豪雨による土砂災害

コーディネータ：平松晋也(信州大学)

セッションの趣旨：

近年、100mm/hrを越える規模の豪雨が全国各地で観測されるようになり、異常豪雨が多発する傾向にあるといわれています。平成18年7月には、これまで雨の少ない地域とされていた長野県岡谷市周辺においても450mmを超える連続雨量が観測され、同地域は甚大な土砂災害に見舞われました。このような異常豪雨による災害から国民の尊い生命や貴重な財産を守るためには、従来と比較すると異常とも言える豪雨の発生と土砂災害との関係を明らかにし、降雨や土砂災害の規模や形態の変化に対応し得る対策を講じる必要があるものと考えられます。本セッションでは、これまでの台風時や前線の活発化に伴う豪雨による土砂災害に関する調査・研究成果を参考に、近年の豪雨規模と土砂移動現象との関係について、土砂移動現象の規模やその発生メカニズムを含めた移動形態の変化を中心として、議論したいと思い

ます。そして、豪雨規模の増加に伴う土砂災害規模や形態の変化についても考察し、異常豪雨といった激変する自然環境に対応し得る方策についても考えたいと思います。

研究発表テーマとしては、降雨規模と土砂移動現象や土砂災害に関するものに限定せず、近年の雨の降り方に関する研究や今後の土砂災害対策の方向性を展望するような総括的内容の報告も歓迎します。

### 一般テーマ2：水・土砂移動と森林の役割

コーディネータ：地頭菌隆（鹿児島大学）

セッションの趣旨：

このテーマは現在でも様々な角度でアプローチされている古くて新しい研究課題です。最近、全国各地で洪水災害や土砂災害が相次いでおり、森林の洪水緩和や土砂災害防止といった機能発揮に国民の期待はますます高まっています。砂防学会として、水・土砂の移動と森林の役割を議論し、今後、砂防からみた森林管理のあり方を提言していくことも重要と考えます。洪水災害や土砂災害を防止・軽減する森林の効果を定量的に評価するには現場のデータが必要です。近年、水・土砂移動に関する観測技術は飛躍的に進歩し、これらの観測に基づいて新しい知見も見いだされています。本セッションでは、最近の森林山地における水・土砂移動に関する事例研究をもとに森林の役割を議論したいと思います。

### 一般テーマ3：砂防施設の効果と検証

コーディネータ：笹原克夫（高知大学）

セッションの趣旨：

治山・砂防事業の計画・設計においては砂防施設の機能や効果が技術基準などに定められる方法で評価されているが、それらは砂防施設の実際の効果を正確に表していないと考えられる場合がある。例えば砂防えん堤の堆砂容量については、元河床勾配に一律の係数を乗じて計画堆砂勾配を定め、それをもとに堆砂量を定める方法が用いられているが、流下土砂の粒径

が小さい場合など堆砂勾配が水平に近く、計画と異なる場合がある。また河床変動シミュレーションで砂防えん堤の堆砂形状を求めると、流下土砂の粒径のみならず、出水ハイドログラフの波形によっても堆砂形状が異なることが知られている。このように砂防えん堤の堆砂勾配の決定には本来元河床勾配のみならず、様々な要因が影響する。このような状況を鑑み、本セッションでは砂防施設の計画・設計上定められた施設の効果の評価手法がどれだけ実態を表しているか、または現在の評価手法の問題点は何かについての報告や考察、そして評価手法の改良に向けた検討事例について議論することを目的とします。

## 6. 発表申し込み

次の①から⑥をe-mailもしくはハガキにて、平成19年1月27日（締め切り厳守）までに、下記まで送付してください（e-mailが望ましい）。

送付先：

e-mail：[jtaka@kpu.ac.jp](mailto:jtaka@kpu.ac.jp)

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町

京都府立大学大学院農学研究科

砂防学研究室 高濱淳一郎

①研究発表題目

②発表内容を示すキーワード

③プログラムの参考にしたいので、下記の分野から第1希望、第2希望を選んでお書き下さい。

一般テーマ別セッションのテーマ1～3，土砂流出，土石流，雪崩，水文，環境砂防，砂防構造物，地震，斜面崩壊，緑化，斜面安定，地すべり，警戒・避難，火山砂防，砂防計画，砂防事業，施工管理，指定地管理，その他（ ）

第1希望（ ），第2希望（ ）

④発表形式

a. テーマ別セッション b. 一般口頭発表

c. ポスターセッション d. どちらでもよい

\*いずれか希望の形式をお選び下さい。特に、  
a. のテーマ別セッションをご希望の方は、a.  
に加えてb. からd. までのいずれか希望の形  
式をご記入下さい。例) a. またはb.

ただし、全体の構成からご希望に添えない場  
合もあります。

⑤発表者と共同研究者の所属および氏名(連名  
の場合は発表者の先頭に○印をつけて下さい)

⑥連絡先の住所、氏名、電話番号、FAX 番号、  
E-mail

(注) プログラム構成の関係上、発表申し込み  
の期限を厳守してください。

## 7. 概要集掲載原稿の提出期限

平成19年4月16日(今回は締め切りを遅らせ  
ていますので、締め切り厳守をお願いします)

(注) 印刷の関係上、提出期限以降は受け付け  
ません。

(注) ポスターセッションによる発表について  
も概要集掲載が必要です。

## 8. 研究発表会若手表彰

優れた研究および調査を行い発表した若手  
学会員(35歳以下)を表彰しますので、該当  
者はその旨を原稿提出時にお知らせ願います。

## 9. 研究発表要領に関する問い合わせ先

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町

京都府立大学大学院農学研究科

砂防学研究室 高浜淳一郎

Tel : 075-703-5634

e-mail : jtaka@kpu.ac.jp